

シリーズ教育相談

Q&A 「友達と関わる力を育てるために」



Q

小学校3年生の母親です。以前、息子は一方的に話をしてしまって友達を怒らせてしまいました。その友達とは仲直りしているのですが、学校の先生からはそれ以降自分から友達の輪に入っていくことが減り、一人で過ごすこともあると聞きました。家でも少し元気がないように感じます。親としては、上手に人と関わって友達を増やしてほしいと思うのですが、何か家庭でできることはあるでしょうか。

A

お子さんの学校の様子を知り、対人関係に関して心配されているのですね。友達との関わりが思うようにいかないことから、もしかしたら自信をなくしてしまっているのかもしれません。まずは、お子さんの気持ちに寄り添うことから始めてみてはどうでしょう。話を聞いてほしいそうなときには、否定せずにしっかり聴くと良いでしょう。上手くいかなくて困っていることや「本当はこうしたい」という思いを聴くことも大切です。

また、コロナ禍の今、密になることを避けるために、人との関わり自体が減ってしまっていて、人とどう関わっていけば良いか分からないお子さんもいるかもしれません。そのようなお子さんのためにも、家庭の中でお手伝いをお願いする等、会話や関わる機会を増やしていくと良いでしょう。

そして、お子さんが人と関わる上で大事にしてほしい

ことを、保護者が意識しておくといいでしょう。例えば、人の話を最後まで聞くことなど、お子さんとの関わりの中でお手本を見せたり、「お母さんの話も聞いてくれる?」と相手の話を最後まで聞く経験を積むことができるようにしたりするなど、自然に生活の中に取り入れることができます。「聞いてくれてありがとう。うれしかったよ」など、できた時にはしっかり褒めると良いでしょう。やり取りの楽しさを感じたり、人と関わって良かったという思いにつながったりします。もしかしたら、できたことを友達との間でやってみようと思うかもしれません。

大事なことは、お子さんが人と関わる楽しさを感じて、やり取りすることに自信をもてるようになることです。できなかった時に注意するというより、「失敗しても大丈夫。次はどうしたらいいかな」と一緒に考え、友達と関わる力を育てていきましょう。

